

<p style="text-align: center;">情報通信法制論Ⅱ Legal System on Electronic Information Ⅱ</p>	<p>(教員名) <吉田 憲></p>	
<p>都市情報学専攻 探究科目</p>	<p>講義科目</p>	<p>選択</p>
	<p>1 単位</p>	<p>2017 年度・前期集中</p>
<p>I 科目の主題 情報化社会において既存の法制度は様々な問題に直面している。本講義は、これらの背景にある共通要素を探究し、その対処法を確認していくことになる。 主に経済活動において生じる問題点について、具体的ケースを参照しつつ検討する。不正競争防止法、著作権法及び電子商取引を中心に検討する予定であるが、適宜関連する法制度にも触れていく。</p>		
<p>II 授業の到達目標 本講義を契機として、受講生が新たな問題を発見する能力を身につけ、取り得る対処法を着想できるようになることが到達目標となる。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画</p> <p>第1回 情報化社会の法的問題点 (1) 第2回 情報化社会の法的問題点 (2) 第3回 情報化社会の法的問題点 (3) 第4回 情報の不正取得への対応 (1) - 不正競争防止法 第5回 情報の不正取得への対応 (2) - 不正競争防止法 第6回 情報の不正取得への対応 (3) - 不正アクセス禁止法等 第7回 情報化社会と契約 (1) - 電子商取引と関連法 第8回 情報化社会と契約 (2) - 電子商取引と関連法 第9回 情報化社会と契約 (3) - 電子商取引と関連法 第10回 情報化の進展と著作権 (1) 第11回 情報化の進展と著作権 (2) 第12回 情報化の進展と著作権 (3) 第13回 情報化の進展と著作権 (4) 第14回 その他関連する諸問題 第15回 まとめ</p> <p>情報通信法制論Ⅰの講義内容と調整するため、上記内容に変更が生じることがある。</p>		
<p>IV 事前・事後の学習内容 事前に知的財産法の入門書を購読しておくことを勧める。</p>		
<p>V 評価方法 主としてレポートで判定し、従として授業中の発言を考慮する。 出席点はないが、出席率が6割に満たない場合は単位を与えない。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント 法的思考を訓練する趣旨から、回答の正誤にかかわらず、積極的な発言を歓迎する。</p>		
<p>VII 教材 教科書は特になし。適宜資料を配布する。 参考図書：曾我部真裕、林秀弥、栗田昌裕『情報法概説』(弘文堂, 2016)</p>		